



初山別村ゼロカーボンシティ宣言

近年、世界各地では猛暑や豪雨など地球規模での異常気象による災害が多発しております。日本各地においても、過去に経験したことのない記録的な猛暑や集中豪雨、大型台風の発生など、私たちの生活環境にも大きな影響を及ぼしています。

これらは、二酸化炭素をはじめとした温室効果ガスによる地球温暖化の進行が原因とされています。

2015年に採択されたパリ協定では、「平均気温の上昇を産業革命以前と比べて2°C未満とし、1.5°Cに抑えるよう努力する」との目標が掲げられ、日本では、2020年10月に政府が「2050年までに温室効果ガスの排出を実質ゼロにする脱炭素社会の実現(カーボンニュートラル)を目指す」ことを宣言しました。

こうした背景のなか、本村では地球温暖化対策実行計画に基づき、公共施設等における節電や空調設備の適切な温度管理など、温室効果ガスの排出量の削減に努めるほか、二酸化炭素の吸収源である森林の整備を推進するなど地球温暖化防止に取り組んでまいりました。

初山別村は、豊かな自然環境の維持と村民が安心して暮らすことができる環境を次世代へ引き継ぐため、2050年までに二酸化炭素排出量を実質ゼロとする「ゼロカーボンシティ」の実現を目指すことをここに宣言します。

令和5年9月1日

初山別村長 宮本 憲幸